

第2号

平成23年11月15日(火)



発行 制活編集支援室
http://www.smt.jp/thinkingtable/

新連載始まる!!

連載小説

パクチー白痴

第一話

パクチーを育てることになった。

33回目の冬を迎えた私はどん詰まりだった。働き出してから一ヶ月も経たないうちに、勤め先のコールセンターで業務縮小が行われることが決まって、近いうちに解雇されるのは間違いない。その上、二週間ほど前から満足に眠ることが出来なくなっていた。眠れてもなにか悪夢を見て、それがどんなものか思い出せないのだが、すぐに目が覚めてしまうのだ。

あまりにも長い夜に暇をもてあましてテレビを点けた。全体的にチープな古い番組が流れていた。

「全ての運勢が下降しだす一ヶ月。転機は来ますがそれまでは落ちつつけます。ラッキーアイテムは観葉植物。」

だから次の日曜日に買いに行くことにした。占いを信じるような馬鹿な女にはなりたくない。とマックで熱弁をふるった高校生の自分を思い出して浅く笑った。

植物売り場は自分が知らない世界だった。こんなにたくさん植物があり、名前が与えられ、どれも多かれ少なかれ需要があるというのを教えてくれる人は今まで誰もいなかった。一つ一つ見て嗅いで触った。どの植物にも個性があった。人当たりがいいもの、押しが強いもの、さばさばして居るもの。だが一緒に暮らせていけそうなのとどしどしりくるモノはなかなか見つからなかった。午前中いっぱいかけてやっと気に入ったものが見つかった。何が良いかは自分でもよくわからないうが、仲の良い友達と久しぶりに会って

「パクチー白痴」
「かつらソムリエさゆ子」
「耳」(次号掲載予定)



Le sommelier de la perruque

庭が好きだ。庭、というより、庭木や花などの植物が好きなのかもしれない。池や石も好きだから庭が好きだ、ということに、うそはないような気がする。いずれにしても、つくづくよいものだと思ふ。

名利、といわれるようなお寺の、回遊式庭園をゆるゆる歩く。苔。じつと鎮座する岩。こぼりとひと泡たてて湧く、水のしずけき。つねにはうつつとしいだけのくもの巣も、光にかがやいて、枝と枝をつなぐ何か美しい繊細なもの、のようにみえてしま



(さゆ子)

「名庭」がいいのはたしかなのだけれど、じつは、それよりもそらされてしまうのは、ふだん散歩しているときに、塀ごしにちらりと垣間見える、知らない誰かの家の庭だったりする。

春の午後、知らない誰かの家の前を通りかかった。こぼれ落ちそうなほどみっちり花をつけた、おおきな桜の木がみえる。天たかく、そして塀をこえてこちらまで、のびやかに枝をひろげている。うららかな空の青に、淡い桜色が映える。歩みをとめて、しばらくみあげてしまった。塀の縁からは、椿の花が、しつとりとこちらをみつめている。

その隠微さに、少し、どきどきする。この薔薇の垣根を通り抜けたら、みたことのないどこかにたどりつくのではないか、という、かすかな期待と怖れ。もちろん、期待はあっさり裏切られることも、怖れは単なる幻想であることも、もうじゅうぶん知っている。 (さゆ子)



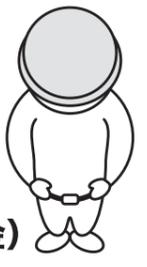
七転び八起き ナカガキ

夏の終わりのちよつとした出来事をひとつ。制活のために仙台にやって来た某日、我が編集部員の温泉マニアの某女史に連れられて、隣県のある温泉に行ってきた。なんだかんだで疲れも溜まってきてたし、取材を口実に温泉に行きたい！なんて雑念があったとかなかったとか。いやいや、実はそれにはいろんな前置きがあったのですが、雪深い山の中にあるその温泉は冬の間は閉まっているのですが、僕自身も中学生くらいから何度も訪れている場所、決まって冬に行き、親戚のおっちゃんとかに連れられては忍び込んで雪見風呂を楽しんだりしていた思い出の場所だったりしました。別に唐突に思い出に浸かりに出掛けたわけではなく、実はもう一つ理由があったんですね、同行した某女史がその場所が骨折したという因縁の場所だったりもしました。そんな二つの場所が実は同じ場所だったということが発覚したのがわりと最近のこと、いつか一緒に行きましょうなんて盛り上がりつつあった今日この頃だったわけですね。

十数年ぶりに訪れたその街角は、見慣れた店が残っていたり、無くなっていたり、新しいお店ができていたり、いちいち懐かしんでしまいました。その場所に近づくとつれて地味に重なることに気づきました。実は雪のない季節に来たのは初めてでした。何度も来ていたはずのその周りは、地形こそ記憶に残りつつも、駐車場だったり、草むらだったり、整備された道路だったり、ある意味、初めて目にする風景できょとんとしました。もちろんその風景はずっと前からあって、たまたま雪に覆われていて見えていなかっただけで、突然それが立ち現れたりしたわけじゃないってことは十分に頭では分かっているんですけど、やっぱりきょとんとしちゃったんですね。ずっと前からそこにあったのに気づいてなくて、ふとした瞬間に大発見した気持ちになつて、でもよく考えると、実はソレって前からあったよなあ、と狐につままれたような気分になる。そういうことが最近よくあります。 (中崎透)

耳

制活編集部員アベガ、いま、気になるあの人にインタビュー



せんだいメディアテーク
7階現在工事中

オープンは
平成24年
1月27日(金)

3がっ11にちを
わすれない
ためにセンター

開設

メディアテーク2F

発信はさまざまな支援活動を応援し、
記録は未来への財産となるように。

http://recorder311.smt.jp/ @recorder311

人が集い語り合いながら
震災復興や地域社会、
表現活動について考えていく場

考えるテーブル

http://www.smt.jp/thinkingtable/